

あ と が き

副校長 長澤 信行

令和6年度は、新型コロナウイルス感染症による教育活動の制限がなくなり、授業や学校行事等、ようやく全ての教育活動が以前と同じように行えるようになりました。様々な制限がかけられていた数年間ではありましたが、本校では令和2年の全国一斉臨時休業の際もオンライン授業を実施するなど、常によりよい教育の在り方を求めて教育実践を積み重ねてきました。時代の要請に合わせて校内の体制を見直し、教員の働き方改革を進めながらも、本校の使命である教育研究活動を最優先として取り組んできました。教育研究協議会を開催できない年もありましたが、おかげさまで今年度はコロナ禍以前と同様、たくさんの方をお迎えして教育研究協議会を盛大に開催することができました。

本校では、これまで「主体性の高まりを目指す課題学習」を研究主題に掲げ、主体的に学ぶ生徒の育成に取り組んできました。令和2年度からは副題を『見方・考え方』を働かせ、『深い学び』を実現する授業づくり」とし、「深い学び」と「見方・考え方」をキーワードにして研究を続けてきたところですが、今年度は副題の最終年度、まとめの年となりました。「深い学び」、「見方・考え方」については、まだ研究の余地を残していますが、本稿で述べたように一定の成果が得られたと考えています。ここで一旦、一区切りとし、次の研究に向けて進んでいきたいと考えています。

さて、中央教育審議会の答申では、「令和の日本型教育」として、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげることを求めています。また、富山県においても、「とやま型学力向上プログラム(Ⅲ期)」の重点として、「問題発見・解決能力」の育成が挙げられています。本校の研究の目標はまさに「主体性の高まり」であり、「個別最適な学び」という点からも、「協働的な学び」という点からも、本校には過去に多くの研究実践事例があります。また、「問題発見・解決能力」の育成についても、問題(課題)意識を高めるための手立てや課題設定の仕方、課題解決の学習過程の仕組み方等の具体的な実践事例があります。本校では、教職員を派遣して校内研修のお手伝いをするなど、地域の学校や先生方との交流を図っております。校内研修等の際に、附属中学校を活用していただければ幸いです。

最後になりましたが、今年度も教育研究協議会を開催することができたのは、日頃よりご指導いただいております文部科学省、富山県教育委員会、県内市町村教育委員会、富山大学等、関係機関の皆様からのご支援、ご協力あってのものと感謝いたしております。この場をお借りして厚く御礼申し上げますとともに、今後も変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。